

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年08月14日
明治大学の所属学部・研究科	政治経済学部政治学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年8月28日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合州国
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California, Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2023年5月～2023年8月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1 学期/4 月上旬～7 月下旬、 2 学期/9 月中旬～2 月上旬	1 学期: ~ 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	45,307
創立年	1868

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	8,895.00	円	
宿舍費	5548.76	円	
食費		円	
図書費		5,700 円	教科書を Kindle にて購入
学用品費		円	
携帯・インターネット費	160.00	円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		41,800 円	形態:大学を通して加入
渡航旅費		140,000 円	
ビザ申請費	350	25810 円	F1 ビザ+ビザ
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	14,604.000	213,310 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田空港 目的地:サンノゼ空港 経由地:	
復路 出発地:ロサンゼルス国際空港 目的地:成田空港 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:Zip Air 料金:14 万円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:International House) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

過去の先輩の体験記を参考にしました。申し込みはオンラインで自分で行いました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

名前の通り、さまざまな国出身の留学生と出会うことができます。留学先での友人の大半は、寮で仲良くなりました。相部屋は狭いため、勉強は図書館やラウンジでしていました。直前に申し込もうとした他大学の友人は満室で申し込めなかったという話を聞いたので、早めに手続きを済ませることをお勧めします。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

窃盗など犯罪が起きたら大学から注意喚起のメールが届きます。
夜間は出歩かない、Uberを使うなどできる限り危険な行動はしないように気をつけました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは場所によって繋がらない時がありますが、キャンパス内やカフェにも Wi-fi があったため、場所を変えたら問題ないです。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットカードを持参しました。現金が必要な場合は、ATMで引き出しました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特にありません。バスで移動できる距離にダイソーやユニクロがあります。現地には日本人も多く住んでいるので、基本的になんでも調達可能です。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前に銀行振り込みにて支払いました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業要件を満たしているから)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Leadership		リーダーシップ
科目設置学部・研究科	Haas School of Business	
履修期間	SessionA (5/22~6/30)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回	
担当教授	Daniel G Mulhern, Ashton E Fandel	
授業内容	リーダーシップについて、理論的に学び、実践での理解を深めていくことです。自分のケーススタディーを発表し、グループでディスカッションをしていくことで、自身の行動パターンや性格を分析していきます。	
試験・課題など	多肢選択法のテストが 2 回 ケーススタディーのレポートを毎週課題として提出します。	
感想を自由記入	現地生も含め、ビジネス専攻以外にもさまざまな専攻の学生がこの授業を履修しており多くの友人を作ることができました。 リーダーシップについて学ぶ生徒が集まっているため、外交的で明るい学生が多く、留学生もインクルーシブな授業で、ディスカッション中にも発言がしやすかったです。 テスト前にはスタディーグループを作り一緒に試験対策をしたり、授業最終日には教授の家でパーティーをしたりとさまざまな機会を得ることができました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Politics and Social Change		政治と社会変動	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	SessionD (7/3~8/11)		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 240 分が 2 回		
担当教授	Robert Ovetz		
授業内容	この授業では、労働運動、BLM、気候変動運動の事例を通して、社会変動の形態について学びます。階級、人種、民族性、ジェンダーが政治、イデオロギー、国家とどのように相互作用するかを理論を学び、分析します。		
試験・課題など	毎週 Reading assignments 約 100 ページと要約の提出 割り当てられた Reading assignments の発表(10 分)と essay(1,000 単語) Final Paper (1,200 単語) 最終試験		
感想を自由記入	課題が多く、教授の講義も口頭ベースだったため、非常に難しい授業でしたが、興味のある分野だったので挑戦してよかったと思います。私たちが実際に NGO やビジネス、ノンエリートに分かれてロールプレーを行いました。実践的に学ぶことで、文献からは学べない発見があり面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Critical Issues in Global Studies		グローバルスタディにおける重要問題	
科目設置学部・研究科	Interdisciplinary Social Science Programs		
履修期間	SessionD (7/3~8/11)		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 150 分が 3 回		
担当教授	Devin Thomas Leigh		
授業内容			
試験・課題など			
感想を自由記入			

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
リクナビ、マイナビ、ビズリーチキャンパスなど一般的なウェブサイトを使用しました。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
私はサマーセッション開始前に就活を終了することができたため、現地では余裕を持って勉強に集中することができました。志望業界によりますが、最終学年で留学する選択は非常に有意義な選択だと考えます。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	就職活動
	10月～12月	就職活動・留学出願・選考
留学開始年	1月～3月	授業登録・寮の申請
	4月～7月	ビザの申請・取得・渡航・留学
	8月～9月	留学・帰国
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

サマーセッションのプログラムは3ヶ月と比較的短い期間のため、留学に初めて行く人も、卒業を控えている4年生も、どんな人にとっても挑戦しやすいプログラムだと考えます。私の場合は、就職活動を終え、学生最後の夏休みに英語力を伸ばし、かつ好きなことを思いっきり学びたいと思い参加しました。

パークレーで過ごした3ヶ月は非常に濃厚で忘れられない体験になりました。

まずは、非常に勉強した3ヶ月間でした。毎週出る課題量が多く、それを全てこなすことに時間を使いました。特に社会学部系の授業は reading assignment の量とエッセイを書く機会が多く、時間がかかりました。ただ、私だけではなく周りの学生全員がよく勉強していたので、私もモチベーションを保つことができました。特に、パークレー現地生は優秀で勉強熱心な学生が多かったです。現地生でサマーの授業をとっている学生は、ダブルメジャーをとっている学生が多いように感じました。

交友関係や大学外の活動も充実したものになりました。友達は、寮とクラスの2つの方法でできました。寮で仲良くなった留学生とは、一緒に観光地を巡ったり、週末に旅行に行くことができました。寮では3食一緒に食べるため、会話をする機会がたくさんあり、すぐに仲良くなることができました。また、ラウンジや近くのカフェで一緒に勉強もしました。寮には最大700人程度住んでいるため、非常に多くの人と出会うことができました。授業で出会った友達は、試験前に一緒に勉強会を行ったり、授業後にレストランに一緒に行ったりしました。3ヶ月という短期間でも、自分と関心の似た学生を絶対に見つけられると思います。

大学生活をどの環境で過ごすかによって、価値観や考え方が全然変わると感じました。

明治大学も素晴らしい大学ですが、世界には優秀で、それでもっともっと高みを目指して学び続ける同世代がたくさんいることを知ることができたのは、私の将来にとって有意義だと感じました。私もあと半年という短い大学生活と、社会人になっても自分を磨き続ける努力をしようと思います。

3ヶ月という短い期間で、価値観を変える経験をしてみたい学生や、優秀な世界中の学生から刺激をもらいたい学生にとってはおおすすめのプログラムだと思います。